

## 青少年の健全育成に向けた社会教育委員としての役割

## 【登壇者】

## ■ 呉市社会教育委員会 副議長 土本 敏明



平成26年から呉市社会教育委員を務め、呉市の社会教育の推進に関わるほか、呉市の青少年の健全育成活動に寄与している。また呉ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会会長として、体験を通じた学びの場を提供するなど、学校ではできない“共育”についての取り組みに尽力している。また、地域での防災・防犯などの地域活動にも注力し、子どもから高齢者まで一体となった呉市の社会教育の意識改革に取り組んでいる。

## ■ 広島市戸坂公民館 館長 熱田 有紀



平成元年に広島市の外郭団体に採用され、広島市青少年センター及び勤労青少年ホーム等の若者の施設を経て、公民館に配属される。コロナ禍では、広島市公民館職員有志とリモート公民館ひろしま（通称：リモコひろしま）を立ち上げた。現在も、広島市内の複数の公民館や市民グループと連携して様々なオンライン事業を企画・実践し、新しい公民館事業の在り方として活用できるリモート事業にチャレンジしている。令和5年度より、第12期中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員を務めている。

## ■ NPO法人おのみち寺子屋 理事長 柿本 和彦



平成15年、「おのみち100km 徒歩の旅」を創設。子供たちのサポートは、氏が指導する学生リーダーが当たる。指導者が若者を鍛え、鍛えられた若者が少年を鍛えるという循環が機能している。仲間と共に100kmを歩き抜く中で、自身の内面を見つめ、人との関わりを学び、忍耐力、協調性、積極性、優しさを備えた未来の日本人を鍛えている。平成18年よりNPOおのみち寺子屋理事長を務め、尾道市内外の青少年教育に貢献している。

## ■ 広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授 杉原 満治



昭和61年に府中市立第三中学校に教諭として採用される。その後、三原市、尾道市においても勤務。平成29年には校長として府中市立府中明郷学園に赴任し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に尽力した。令和2年には広島県東部教育事務所所長、令和3年より広島県教育委員会、広島県立教育センター所長兼個別最適な学び担当課長を歴任。令和5年より現職。学校経営、スクールリーダー育成、地域学校経営等について研究している。

## 【コーディネーター】

## 一般社団法人まなびのみなと 代表理事 取釜 宏行



平成23年に大崎上島町にUターン後、魅力化コーディネーターとして、県立大崎海星高等学校魅力化プロジェクトに参画。その取組は「高校魅力化&島の仕事図鑑 地域とつくるこれからの高校教育」「みんなの仕事図鑑」として書籍化。

これまでに、県立高校魅力化アドバイザー、広島県生涯学習審議会委員、島根大学社会教育士講習講師、文部科学省CSマイスター等を務め、「高校」×「地域」を中心に講演や研修を行っている。